

神の武具を身につけるとは

エペソ 6 章 10～18 節

新改訳 2017

ホープチャペル所沢

イントロダクション

今日は、使徒パウロが書いたエペソ人への手紙の中にある、神様が私たちに与えてくださっている「神の武具」は何のためか、また、一つ一つの武具がどのようなものかを見ていきたい。

1) 神の武具が与えられている理由 (エペソ 6:10～13)

1 章～3 章:「教会の構造と役割」を教理的に説明。

4 章～6 章:「教会というキリストの共同体の中でどう生きるか」という実践的なことの説明。

- ・終わりに言います ・私たちの格闘 ・血肉に対するものではなく
- ・邪悪な日 ・神のすべての武具

2) 神の 7 つの武具 (エペソ 6:14～18)

- ① 腰に真理の帯を締める = イエス様を中心に据える
(ヨハネ 14:6、8:31～32)
- ② 胸には正義の胸当てをつける = 神に義と認められていることを知る
- ③ 足に平和の福音の備えをはく = 証の準備をする
(エペソ 2:14、16、1 ペテロ 3 章 15 b)
- ④ 信仰の盾を取る = 神ご自身が守ってくださるという信仰を持つ
(創世記 15:1)
- ⑤ 救いのかぶとをかぶる = 救いはただ恵によるという考えを持つ
(参考記事: マルタとマリヤの記事 ルカ 10:38～42)
- ⑥ 御霊の剣 (み言葉の剣) を取る = 御霊によってみ言葉の剣を使いこなす
(2 コリント 10:4、イエス様のお手本: マタイ 4:1～11、ルカ 4:1～13)
- ⑦ 御霊によって祈る = イエスの中に憩い、御霊に導かれて祈る
(ローマ 8:26～27)

まとめ

神の武具は、個人個人に与えられていると同時に教会に与えられている。邪悪な日が来たとしても、私たちは倒されないように備え、戦いが始まったら神のすべての武具をしっかり使い、御霊に導かれてみ言葉の剣で勝利する、そういう信仰者、教会になっていきたい。



今週のみことば

エペソ 6 章 10～18 節

20230312hctj